

地域振興・機体活用プロジェクト「空恋」

大分県杵築市『特産品ブランド・きつきのきづき号』 大分空港で就航セレモニーを開催しました

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋 宏輔)で取り組む機体活用プロジェクト『空恋～空で街と恋をする～』におきまして、大分県杵築市の「特産品ブランド・きつきのきづき号」が運航を開始しました。(運航開始:7月14日(金)から)

プロジェクト機「特産品ブランド・きつきのきづき号」の運航開始を記念して、本日大分空港で就航セレモニーを執り行い、ソラシドエア 90 便(大分 13:05 発、羽田 14:35 着)にご搭乗いただいたお客様には、情報誌(杵築ブランドバイヤーズ)、杵築七トウ藪のコースター、搭乗証明書などの記念品の配布を行いました。『空恋』プロジェクトの自治体としては 18 番目となり、ボーイング 737-800 機の JA802X 号機で約 1 年間、当社の全就航地を運航してまいります。

大分県杵築市は、国東半島の南端に位置し、別府湾、伊予灘を望むこの地には豊かな海の幸、清らかな水や肥沃な大地があり、歴史と文化から生み出された数々の地域特産品があります。

江戸時代の風情が漂う日本唯一の「サンドイッチ型城下町」で、九州の小京都との称される町並みでは、およそ 300 点の中から好きな着物をレンタルしての散策が人気で、外国人観光客も多く訪れるフォトジェニックな観光地です。ソラシドエアと杵築市は、空恋プロジェクトを通し、共に杵築市の魅力を PR してまいります。



<機体写真>



<セレモニーの様子>

ソラシドエアの機体活用プロジェクト『空恋』は、地域振興を目的としています。1機体1自治体を基本に、1年間機体側面に地名を表示すると共に、機内では各自治体独自の方法でPRしていただきます。

ソラシドエアでは、“空から笑顔の種をまく。”のブランドコンセプトのもと、今後とも「九州・沖縄の翼」としてより一層地域のみなさまとの絆を深め、九州・沖縄にはなくてはならないエアラインへと成長してまいります。



空恋：『特産品ブランド・きつきのきづき号』

以上